

象の鼻と呼ばれていた場所（旧道）

明治の頃、浜と中通りを結ぶ道が通った。今の二八八の初めの道で、馬車が通るくらいの道幅しかなかつた。だから、魚も生きが悪くなつただろうが、平氣でたべて、中毒も起こさなかつたんだから、昔の人は丈夫だったのです。思つていたという話です。

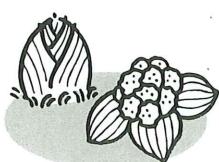
この地区は大川原村と野上村が合併して大野村となつた。現在の大野幼稚園あたりが本村と言つて、村役場や学校があり、村の中心地だつた。うちは、戦前からここでたばこ屋をやつていたが戦時中は、配給制で一日一人三本だつた。

この道の向かいに、戊辰の役の時の大砲の跡がある。昔の大砲は横振りしか動かなかつたから、攻撃地を定めてからその高さにあつた場所を選んで置いたもんです。ここから西軍に向けて撃つたんですよ。

昭和の初期にはこの道路の拡幅工事が行わられて、十七才くらいで人夫に出た。当時は日当が南京米で一升だつた。二八八添の野上川渓谷は眺めが良く、紅葉の名所が沢山あつたが、道路の整備工事のたびに削られて、年々、景観が変わつてしまつた。

今の野上トンネルのあたりに、象の鼻と言われた岩石や、くらべ石など、おもしろい所があつた。象の鼻には蚕種を囲つた石室があつた。そこには人造の風穴があつて、いつも、冷たい風が出ていた。残念ながら、今は何もない。

昔を思い出せばあの頃が良い時代だつたのか、今の便利な時代が良いのか、なかなかむずかしいですね。



ふるさと 再発見 地区めぐり 大熊町を 端から端まで 知りつくそう！

〒979-1307 野上地区です。
阿武隈山系の高地から野上原に開けた地域です。

字名は望洋平、楓沢、旭ヶ丘、湯の神、姥神、山神、秋葉台、諏訪、羽山沢等があります。

国道288線と野上街道の接点
にお住まいの小林登さんにお話を伺いました。

この地区は大川原村と野上村が合併して大野村となつた。現在の大野幼稚園あたりが本村と言つて、村役場や学校があり、村の中心地だつた。うちは、戦前からここでたばこ屋をやつていたが戦時中は、配給制で一日一人三本だつた。

昭和の初期にはこの道路の拡幅工事が行わられて、十七才くらいで人夫に出た。当時は日当が南京米で一升だつた。二八八添の野上川渓谷は眺めが良く、紅葉の名所が沢山あつたが、道路の整備工事のたびに削られて、年々、景観が変わつてしまつた。

今の野上トンネルのあたりに、象の鼻と言われた岩石や、くらべ石など、おもしろい所があつた。象の鼻には蚕種を囲つた石室があつた。そこには人造の風穴があつて、いつも、冷たい風が出ていた。残念ながら、今は何もない。

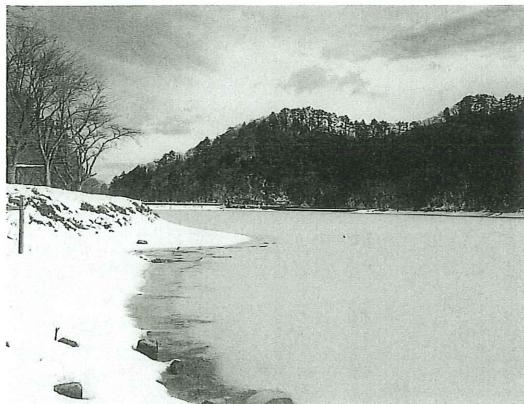
昔を思い出せばあの頃が良い時代だつたのか、今の便利な時代が良いのか、なかなかむずかしいですね。



【トロツ「道】

小塚や玉の湯上流の入り山の原生林から、原木や、製炭場からの炭の運搬に使われた。大野駅まで通つている。

現在は、山ひだに埋もれた、石垣だけが残っている所と一般道として使われている所がある。



小塚の 溜め池

灌漑用水として
十年がかりで完成。
トロッコ道を利
用して土を運ん
だ。



堰守の碑

二八八線沿いに石碑がある。

野上川から引いた水を管理する堰守がいて、水の番をしていた。農閑期は双葉町の羽黒の堤へ、農繁期は野上、下野上、夫沢方面へ水を供給していた。堰守への謝礼は米で各戸から集められた。その量は当時としては、かなりのものだったそう



諏訪神社

昔から村の中心にあり。今も地区の人々の信仰が厚い。盆には諏訪神楽が奉納される。